

Q 反応に乏しく、模倣や指さしをしません。

A 楽しい、嬉しい感情を声・表情・身体の動きなど反応として表すことの多さは、子どもの個性によるところも大きいので、それだけで心配する必要はありません。好きな遊びや働きかけで遊びながら、気持ちのやりとりをすることが、模倣や指さしなど人とのコミュニケーションの土台を作ることにつながります。